



# つくば市議会だより

# SUKUBA-28

議会をもっと知りたくなる情報紙

9月定例会 No.163  
 令和2年(2020年)11月1日発行  
 発行：つくば市議会  
 編集：議会報編集委員会

・一般質問	P2～6
・一般質問など	P7
・第3回臨時会	P8
・決算審査	P9
・委員会審査・議案審議	P10
・議決結果・議決賛否	P11
・特集	P12



4年間、つくば市政の発展のため  
 議論を行ってきました！



## 決算特別委員会で 令和元年度一般会計歳入歳出決算認定などを審査！

9月定例会で付託された各決算認定などについて審議するため、決算特別委員会および各分科会を開催しました。

👉 詳しくは [〈P9 決算審査〉](#) へ



### 9月定例会ハイライト

一般質問 21名の議員が白熱の議論を展開  
 議案審議 議案など38件、請願2件、意見書案2件を審議


### 第3回臨時会ハイライト

議案審議 議案など3件を審議

📍 筑波山ケーブルカー宮脇駅付近の紅葉

### 12月定例会開催予定

12月3日(木)	開会・正副議長選挙など
4日(金)	議案上程
11日(金)	一般質問
14日(月)	一般質問
15日(火)	一般質問・議案等総括質疑・予算決算委員会
17日(木)	予算決算委員会(総務・文教福祉) 総務委員会・文教福祉委員会
18日(金)	予算決算委員会(市民経済・都市建設) 市民経済委員会・都市建設委員会
23日(水)	予算決算委員会
25日(金)	討論・採決・閉会



12月定例会  
スケジュール  
はこちら





木村 修寿 議員

つくば政清会



### 香取台地区のコミュニティーセンターについて

**質疑** 万博記念公園駅周辺の香取台地区は、人口が増加しています。地域の人が集う場所または社会教育を行う施設が必要と思いますが、市はどのように考えていますか。

**答弁** 具体的にはどのような施設を考えていますか。

**質疑** 児童クラブの施設と併用する形で、市民が利用できる会議室やフリースペースを備えた施設整備を計画しています。

**答弁** 誰でも参加できる学習の場、教養講座などの社会教育についてどのように考えていますか。

職員による出前講座などを行うことができます。

生涯学習については、教育局が社会のニーズから講座を設けるほか、市民が語学、スポーツ、歴史、美術など多彩なジャンルから講座を実施したり、市民が講座を計画する際には、学びたい方と教えたい方をコーディネートする生涯学習指導者登録制度を利用したりすることができま

このほか、(仮称) 研究学園小学校・中学校、都市計画道路について質問しました。



小久保 貴史 議員

自民つくばクラブ  
新しい風



### 空き家対策について

**質疑** 空き家バンク制度の利用状況に関して、登録件数や利用希望件数、成約状況、また、空き家活用補助金の内容について伺います。

**答弁** 空き家バンクの実績は、制度開始から今年7月末までの累計は、登録物件が30件、利用登録が128件、成約が5件です。

空き家活用補助金は、空き家バンクに登録されている物件の所有者と利用登録者との間で売買契約が成立した場合に、物件

の改修工事および家財処分に係る費用に対して交付する補助金です。補助率は、対象経費の2分の1で、補助金の上限額は、改修工事が50万円、家財処分は10万円です。現時点での補助金交付の実績はありませんが、今後空き家などの適切な管理と有効活用の促進により地域の生活環境の保全と活性化を図ります。

**要望** 補助金額の拡充と、費用対効果の面から空き家として活用するのが厳しい空き家につ



このほか、コロナ禍における緊急経済政策、道路維持管理について質問しました。



滝口 隆一 議員

日本共産党



### PCR検査大幅拡大でコロナ対策を

**質疑** 国は実効ある感染対策を打っていません。一方でGOTOトラベルを強行しています。

**答弁** 必要と考えますが、市の現状と見解を伺います。

大幅拡大が必要です。特に、感染震源地の面的検査や医療・介護・福祉・教育関係者への定期的検査が重要です。世田谷区・千代田区ではその方向で動いています。ニューヨークでは700か所の検査所を設置し、検査結果を集計して、行政の行動方針や政策の決定に利用しています。経済再生のためにも検査は

必要と見解を伺います。

このほか、市民交流センターなどの利用者把握、少人数学級、介護保険、桜川の改修について質問しました。



橋本 佳子 議員

日本共産党



### 公立幼稚園の改修計画と3歳児受け入れスタートについて

**質疑** 学校等適正配置計画の第1期(令和元年度から令和5年度)計画によると、高崎・岩崎幼稚園の統合、谷田部幼稚園の移転を検討するとなっています。

**答弁** ①令和元年度、令和2年度の2か年で、市内の学校全体を対象に長寿命化計画を策定しています。公立幼稚園は、今後の在り方を考慮しながら、改修の計画を策定していきます。

②公立幼稚園の在り方を考える中、3歳児の受け入れについては、幼稚園教諭の確保や施設整備における課題を考慮し、公立幼稚園としての役割などについて、私立幼稚園と協議を重ねながら検討してきました。現時点では、幼稚園の無償化後の入

園状況も精査し、まずは1園で実施する方向で進めていきます。

**要望** 公立保育所同様の公立幼稚園の改善計画には、専門的な担当を置き、充実したほうがよいと思います。体制についてご配慮をお願いします。



▲高崎幼稚園

このほか、適正規模の学校建設、学校給食センター基本計画、保健センターについて質問しました。





やまなか まゆみ  
山中 真弓 議員

日本共産党



### センタービル改修は市民意見を取り入れ再考を

**質疑** つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会は、「歩いてほっとする場所のある誰にでもやさしいまちなかの形成」という提言を出しましたが、市のセンタービル改修案は、アイモールを貸しオフィスにし、収支計画が不透明なまちづくり会社に運営を任せるものです。市民の財産でもあるセンタービルは、誰もが使える施設に改修すべきと考えますが、市の見解を伺います。

**答弁** つくばセンタービルリニューアルの検討に当たり、つくばセンタービルだけでなく、駅周辺の役割分担を考え検討する必要があります。駅周辺に欲しい施設・機能については、市民からいただいた意見を踏まえ、リニューアルの方向性案を作成し、今年6月に市民に公表し意見募集を行いました。これらの意見を踏まえ、具体的に導入する機能を決定していきます。

**質疑** 説明会を実施し、市民意見を取り入れた計画に再考すべきと考えますが、エリアマネ

**答弁** エリアマネジメント団体は今年度の設立を予定しており、地域で活動する事業者から出資を募り、官民が連携し設立する予定です。出資額の割合や実施する各事業の具体的な収支などは、現在出資を検討している事業者と調整を行っており、秋頃には整理する予定です。

ジメント団体設立の準備状況について伺います。

**答弁** エリアマネジメント団体は今年度の設立を予定しており、地域で活動する事業者から出資を募り、官民が連携し設立する予定です。出資額の割合や実施する各事業の具体的な収支などは、現在出資を検討している事業者と調整を行っており、秋頃には整理する予定です。



おの やすひろ  
小野 泰宏 議員

公明党



### 今秋以降の新型コロナウイルス対策を万全に

**質疑** 今後の新型コロナウイルスの対応で心配しているのが、季節性インフルエンザと新型コロナウイルスとが、この冬に同時流行する「ツインデミック」の現象が起こることです。その初期段階で、発熱・のどの痛みや倦怠感など、おのおの似ている症状もあり区別がつきづらく、現場の最前線が大変混乱するのではないかと、危惧しています。今秋以降の感染拡大防止についての考えと対応策について市長に伺います。

**答弁** 秋以降の新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、季節性インフルエンザや風邪も流行が予想されることから、新型コロナウイルス感染症の対策に合わせ、免疫力を高めるための健康づくりや季節性インフルエンザワクチンの早めの接種について周知していきます。また、各施設の利用ガイドラインの順守、東京都への不要不急の往来の自粛、県が推奨しているいばらきアマビエちゃんの活用などを引き続き広く市民に周知していきます。

知していきます。また、より緊密に医師会や保健所と情報共有をして、クラスターを発生させないこと、そして、インフルエンザも発生の兆候があれば早めに抑えていき、これから市民の生活の在り方も、感染予防を定着させていくということも、同時に訴えながら、乗り越えていきたいと考えています。



ごとう やすまこと  
五頭 泰誠 議員

自民つくばクラブ・新しい風



### 1期目の市政の課題と2期目の市長選挙の公約について

**質疑** 1期4年の市長の市政運営について、実現したことやなかなか実現できなかったことなど、良い面と悪い面もいろいろあったことと思います。それらの課題についての市長の認識を伺います。また、それら課題について、選挙ではどのような公約を掲げるつもりか伺います。

**答弁** 選挙公約事業の中には、調査を進めてきた結果、社会情勢や実現可能性を考え、検討を終了したものや「遅れ」としているものもあります。このことについては、その経緯や理由を公開しています。選挙公約事業のほか、中心市街地の活性化や高エネ研南側未利用地の活用、人口増に対応した学校新設など、道半ばの課題も残っています。これらの課題に対しては、公約の発表はまだまだですが、次の4年間で、これまで以上に、市民との丁寧な対話や議会とのさらなる連携を積み重ね、課題解決に向けた取り組みを着実に進めていきたいと考えています。



しおた ひさし  
塩田 尚 議員

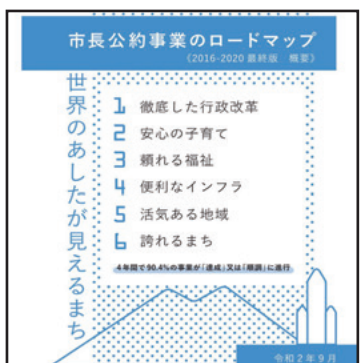
山中八策の会



### 熱中症および新型コロナウイルス感染症対策について

**質疑** 異常な暑さと新型コロナウイルス感染症の影響で、子どもたちは非常に危険な環境に置かれています。このような状況で、子どもたちをはじめ、高齢者などの市民を守るための市の取り組みについて伺います。

**答弁** 保育所などの熱中症対策については、気温が高い時間帯に屋外活動は行わないなど保育環境や児童の体調に注視しながら保育しています。新型コロナウイルス感染症対策については、70歳以上の高齢者には1人3枚ずつマスクを送付、また地域経済や家庭への支援のため、70



市長公約事業のロードマップ

このほか、1期4年の市政、コロナ禍による影響をどのように考えるかについて質問しました。



市民生活応援商品券

**要望** 子どもたちの学校生活が、コロナ禍でも思い出を残せる充実したものにできるよう取り組みを要望します。





はまなか かつみ  
浜中 勝美 議員

公明党



### 新型コロナウイルス感染症に係る経済対策について

【質疑】

新型コロナウイルス感染症に関する解雇や雇い止めは見込みを含め5万人を超え、非正規労働者が多く含まれる可能性が指摘され厳しい雇用状況が続いています。各地の労働局やハローワークに相談をした事業所の報告に限られ、実際の人数はもっと多いとみられます。企業体力は限界に差し掛かっており、日本経済の大幅悪化の先行き不透明感が懸念され、国ではさまざまな経済対策が行われていますが、①事業継続給付金、

②事業者経営支援ワンストップ窓口の取り組みについて伺います。

【答弁】

①事業継続給付金は、国の持続化給付金や家賃支援給付金の売り上げ減少要件に当てはまらない事業者に対して、法人に一律20万円、個人事業主に一律10万円を助成する市独自事業です。8月18日の受付開始以降、既に13件の申請を受け、事前相談も100件を超えている状況です。

②経営支援ワンストップ窓口



▲経営支援ワンストップ窓口

このほか、公共交通の取り組み、スーパーシテイ(スマートシテイ)の取り組みについて質問しました。



すずき ふみお  
鈴木 富士雄 議員

つくば市政クラブ



### 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対策について

【質疑】

市では新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)が拡大していますが、これらに対する市の考えを伺います。①感染症拡大状況下での対策、②災害時の避難所での感染症対策、③感染症対策としての庁内での働き方改革の一環であるテレワークなどの普及・促進に向けた取り組み、④市内企業の働き方改革の取り組みに関し、テレワーク導入などの相談・問い合わせの状況。

①市民へ感染予防対策

を啓発し、市主催のイベントの取扱方針や各施設の利用ガイドラインを作成し周知しました。

②3密回避のため避難所を増やし、世帯ごとに2人以上の間隔確保や、受付の配置職員を増員し検温と体調の聞き取りなどを行います。避難所担当部局と運営のシミュレーションを行い、職員向けに避難所運営マニュアルを作成しました。避難に関してはチラシ配布や広報、ホームページで周知しています。

③全庁的に在宅や分散勤務を推進し、執務室の職員数を通常の半数とするなど感染防止を図りました。また、在宅で社内ネットワークが使用できないなどの課題が生じ、自宅で使用できるパソコンやサテライトオフィス2か所の整備を進めています。

④テレワーク導入経費の一部を助成する制度を新たに創設するなど支援を強化しています。これまで市内企業からのテレワーク導入の相談実績はありませんが、引き続き8月11日に開設した経営支援ワンストップ窓口にて専門家による相談や技術的な助言を行っていきます。

このほか、熱中症対策、つくば市公共施設の現状と将来への見通しについて質問しました。



うの のぶこ  
宇野 信子 議員

つくば・市民ネットワーク



### 学校も街もバリアフリー化を進めよう

【質疑】

バリアフリー法改正により、小・中学校のバリアフリー化が義務となり、移動等円滑化促進方針(バリアフリーマスタープラン)策定が努力義務となりました。そこで、①地域の学校へ肢体不自由などの児童生徒の就学を積極的に進めることについて、②バリアフリーマスタープランの策定について伺います。

①本人や保護者の意思を大切に就学先を選択できるよう、教育内容や教育環境について丁寧な説明と学校見学や体験を行い、保護者と学校の話し合いを大事にしています。一人一人の障害の状態に応じた教育内容や環境を整え、子どもたちの力を最大限に伸ばし共に学び合える学校は教育本来の目指す姿で、将来の共生社会につながるものであり、実現に向け努力したいと考えます。

②誰もが楽しく暮らしやすいつくば市の実現を目指し、平成18年に策定したつくば市ユニバーサルデザイン基本方針に基づき、道路および公共施設の整備などのハード事業、職員へのユニバーサルデザイン研修などのソフト事業を実施してきました。平成30年と今年の2回に渡り行われたバリアフリー法の改正により、移動等円滑化促進方針策定の努力義務や心のバリアフリーの推進が規定されるなど、対策の強化を求められていることも踏まえ、高齢者、障害者などの移動に関する現状把握や先行して策定した自治体の事例調査を進めます。

このほか、公共交通改編の効果と課題について質問しました。



みなかわ ゆきえ  
皆川 幸枝 議員

つくば・市民ネットワーク



### 公共施設を計画的に改修・活用して、周辺地域の活性化を!

【質疑】

この4年で周辺市街地振興や公共交通改編、地域包括支援センターを設置し、中心部だけでなく周辺地域の活性化に力を入れて取り組んできました。さらに活性化を推進するために、老朽化した公共施設を改修し、地域ニーズが変化している施設については活用が進むように改変していくことが必要です。

①トイレやエアコン、屋根や壁面などについて、緊急性を考慮した上で順次改修を進めています。今後は、今年度末に策定予定の学校施設長寿命化計画に基づき計画的に改修を行います。

②市民に安全で快適に利用してもらったため、緊急性、安全性などを考慮しながら順次改修、修繕を行います。今後は、つくば市公共施設等総合管理計画に基づき、体育施設の大規模改修の内容や時期などをまとめた個

このほか、荖崎地区の保健センター機能の継続、スーパーシテイ構想について質問しました。

別施設計画を今年度作成する予定です。これを基に、大規模改修工事を計画的に実施します。

③全ての地域交流センターでトイレ洋式化の改修工事を完了していますが、一部の洗浄機能が設置されていないトイレは、今後計画的に改修していきます。

④新耐震基準を満たしておらず、早期対応が必要な公立保育所があるため、令和2年3月に、つくば市公立保育所の施設改善に関する基本方針を策定しました。今後、修繕や改修、統廃合など順次着手します。





小森谷 佐弥香 議員

つくば・市民ネットワーク



中央図書館の機能拡充と学校施設の多機能化

質疑 今後も児童生徒数の増加が見込まれるTX沿線地区では、5つの小・中学校と市民も利用できる学校温水プールの建設が予定されている一方、地域交流センターなどの公共施設の整備が追い付いていません。学校施設の市民開放や市民スペースの併設を進めることを強く求めます。併せて、中央図書館の本を貸し出しできる窓口を設ければ市民ニーズに応えられると提案しますが、状況を伺います。

答弁 (仮称)香取台地区小

学校では、家庭科室、図工室、音楽室を開放できるように設計業務を進めています。また、敷地内に建設するコミュニケーションスペースの一角で、中央図書館の図書への貸し出し、返却ができるよう協議を進めています。(仮称)研究学園小学校・研究学園中学校では、図書室、家庭科室、多目的室を開放できるように設計業務を進めています。図書室は中央図書館の図書の貸し出し、返却ができるように考えています。(仮称)みどりの南小学校・



北口 ひとみ 議員

つくば・市民ネットワーク



陸上競技場、5年前の教訓を生かして!

質疑 令和2年7月30日に開かれた「第1回つくば市陸上競技場整備基本構想策定検討会議」を傍聴しました。かつての総合運動公園基本構想に似通った意見も出され、5年前の住民投票で白紙撤回に至った教訓は生かされるのか懸念しています。今後のスケジュールと民意の諮り方について伺います。

答弁 検討会議には公募により選ばれた2名の市民委員、つくば市中学校体育連盟および陸上競技協会の代表者など、さまざま

さまざまな立場の方に出席いただき、会談の中で意見などを十分に参考にしています。また、会議の情報については、積極的に市民に開示するとともに、基本構想の策定過程において、パブリックコメントを実施し、広く市民の意見などを伺い、基本構想に反映していきます。 「つくば市大規模事業の基本方針」に該当するこの基本構想が形作られる段階で、「民意の適切な把握」にどう取り組むか伺います。



塚本 洋二 議員

つくば市政クラブ



高工ネ研南側未利用地について

質疑 現在、高工ネ研南側未利用地は市から受託した除草業務などから出された草などの仮置き場になっていますが、周辺地区の方々から「中に入れていくようなものがどうなっているのか」などの問い合わせが相次ぎました。当該地が仮置き場となった経緯、現在の仮置き場の状況、今後の対応について伺います。

答弁 市の除草業務委託で発生する刈り草については、これまでは市内の処理業者へ搬入し処分を行っていましたが、令和

元月12月から操業を停止したため、令和2年度に発生する刈り草の処分について検討しました。その結果、つくば市土地開発公社が所有する高工ネ研南側未利用地を、処理業者が操業を再開するまでの間の一時的な仮置き場としました。刈り草の搬入に当たっては、令和2年6月から市の職員が常駐し、出入口の施錠や搬入業者、搬入車両、搬入物の確認および場内の管理を行ってまいります。今後、これまで搬入してきた



金子 和雄 議員

新社会党



特別支援学校について

質疑 つくばみらい市の伊奈特別支援学校が荊崎地区の児童生徒の学区に、石岡市八郷地区の新規開校する石岡特別支援学校が筑波地区の児童生徒の学区になりましたが、つくば特別支援学校の過密緩和が全面的に解消したわけではありません。私の一般質問に対し、市長は過密緩和の根本的な解決には市内に一つ特別支援学校が必要との答弁をしています。つくば特別支援学校の過密緩和への取り組み、同校への高等部新設の取

り組み、高等特別支援学校誘致の現状について伺います。

答弁 教室不足解消を喫緊の課題として捉え、学校の実情や市民の声を県に説明し、年度ごとに化する状況に応じて要望書を提出してきました。当初、高等特別支援学校の誘致も視野に入れましたが、対象者が限定され、教室不足解消にはつながらないことが見えてきたため、要望を高等部の新設に変更しました。そうした中、県内の高等学校での特別支援教育

処理業者が操業を再開次第、仮置き場からの搬出を予定しています。

要望 市で十分に管理し、再開される際には、再度適正な処理をするよう要望します。



このほか、新型コロナウイルス対策について質問しました。

このほか、平成30年度末には中学校特別支援学級在籍生徒の約8割は高校に進学するようになりまし。このよう状況踏まえ、昨年度は高等部に限定せず、県の次期整備計画に教室不足解消に向けた施策を位置づけるよう内容を変更して要望しました。今年3月公表の県立特別支援学校教育環境整備計画に、つくば特別支援学校の校舎増築が明確に示されました。このほか、市長公約事業ロードマップ、バリアフリー法の改正に伴う市の対応、福島原発事故での損害賠償、民法改正に伴う市営住宅の申込、安全なまちづくりのための交番の重要性、新型コロナウイルス感染症について質問しました。





木村 清隆 議員

つくば政清会



### 高齢者の生き甲斐と居場所づくりについて

**質疑** 団塊の世代が75歳を超えて後期高齢者となる2025年を目前にして、高齢者が健康で長寿・幸せな住みやすいつくば市を推進するに当たり、市の考えを伺います。

**答弁** ①シルバークラブの加入状況、②高齢者の居場所・交流場(アウトドア・インドア)についての現状と課題、③シルバークラブ新規設立に向けた市の取り組み。  
①平成28年度の対象者は5万3749人、加入者は6482人です。令和2年度の対

象者は5万7745人、加入者は6533人です。  
②高齢者憩いの広場運営補助事業を実施し、9団体に補助金を交付し活動を支援しています。また、自宅に閉じこもりがちな高齢者に、新しい仲間や生きがいを見つけてもらうよう、老人福祉センターなどで高齢者いきいきサロンを週1回ずつ行い、集会所などで出前講座なども行っています。今後も事業内容の充実に努め、広報つくばやホームページなどで周知してい

きます。  
③市区長会での説明や解散したシルバークラブへの復活相談地区事業への招待などの働き掛けを行っていますが、区会のない地域では設立に向けた取り組みが難しい状況です。区会のない地域でも高齢者が活躍できる居場所を確保できるよう、他自治体などの事例などを調査研究していきます。  
**要望** 運転免許を返納した高齢者に対して、より一層の温かい市の取り組みを要望します。



黒田 健祐 議員

自民つくばクラブ・新しい風



### 出産環境について

**質疑** つくば市の出産環境について伺います。

**答弁** ①昨年度の赤ちゃん訪問による産婦2243人の調査結果によると、約60%の1338人が市内3か所の医療機関で出産しており、つくば市を除く県内の医療機関は約26%、県外は約14%となっています。市民の安全で安心な出産の場を安定的に提供するため、平成25年度から筑波大学附属病院につくば市バースセンターを開設し、

昨年73人が出産しています。  
②出産環境の充実に向けて、平成30年度には産婦人科施設開設支援事業助成金制度を設け、昨年度は茨城県産婦人科医学会や筑波大学附属病院産科・婦人科へ産科医療機関開設の働き掛けを行い、相談はありましたが最終的な申請はありませんでした。昨年度の産婦へのアンケートでは、市内で出産を希望したができなかつた方が56人いました。妊婦が希望する出産場所を確保できるよう、引き続き産婦人科



このほか、職員の働き方について質問しました。



ヘイズジョン 議員

自民つくばクラブ・新しい風



### Twitterなどによる道路不具合報告システム

**質疑** 以前、道路の陥没などを市へ報告させていただいた際、大変速やかに対応していただきました。市民の皆さまのお力添えで不具合を速やかに発見し、対処することで安全性を担保しさらなる被害を防ぐことが可能になり、市の対応を見える化する

ことで、市への信頼も増すと考えています。SNSに市の専用ページを設置し、市民の皆様から道路の冠水や陥没などの不具合を写真や位置情報で通報できるシステム構築の検討について伺います。  
**答弁** スマートフォンのアプリを活用した通報システムについては、他の自治体において道路の損傷、不法投棄や落書きに関する通報、身近な困り事相談について導入している事例があります。このようなICT技術を活用した通報システムは、市民と市の関係部署との間で情報共有し、効率的な問題解決に有効と思われます。  
今後、他の自治体を参考にし、市の関係部署と通報システム

ムについて調査検討していきます。  
**要望** SNSで受け付ける体制を構築し、積極的に広報することを要望します。



このほか、スケートボードが可能な公園の整備、観光地での多言語説明文について質問しました。



須藤 光明 議員

つくば市政クラブ



### 研究学園都市つくば市の教育を重要課題としてさらなる充実に

**質疑** つくば市は先進的教育用ネットワークモデル地域事業(郵政省(現総務省)300億円、文部省(現文部科学省)20億円の補助事業全国30地域をモデルとして指定)を誘致して、ICT教育の充実に取り組みました。

2015年度から2020年度までにかけて第2期つくば市教育プランでは「教育日本一」を掲げてさらなるICT教育の充実をし、小中一貫教育制度やつくばスタイル科という研究学園都市の教育的資源を活かして評

価を得ていますが、さらなる教育の充実に向上について市の考えを伺います。  
**答弁** これまで教育の充実に目指してさまざまな取り組みを進めてきました。特に特徴として、ICT活用教育、2学期制、小中一貫教育が挙げられます。ICT活用教育にいち早く取り組み、一貫して学習の個別化と協働を目的に継続してきたことで、学習の有効な手段として確立してきました。また、2学期制を実施することで、学習

目標をスモールステップで設定し、長い期間をかけて評価するサイクルを確立することで、子どもたちが、計画・実行・振り返りの流れを確立し、主体的な学びを目指してきました。小中一貫教育は、9年後の児童生徒の成長の姿を小学校と中学校の教員が共有することで、系統的な学びを実現してきました。  
今後は、教育大綱の理念の下、これまでの施策を改善・充実させるとともに、GIGAスクール構想などにより、子どもが自ら学びたくなるような教育環境を整え、自ら探求していくような新しい時代の学びを推進します。





山本 美和 議員

公明党



### 災害時の情報発信はまちの責任

【質疑】 コロナ禍における自然災害発生時には今までと異なる対策が必要であり、日頃の備えがあつてこそその対策になります。市の防災情報の伝達についての取り組みについて伺います。

【答弁】 防災情報の伝達については、事前広報として6月から毎月広報紙で災害への備えや避難の在り方をお知らせしました。災害時には、市のホームページやつくば市災害・防災メール、ヤフー防災アプリ、NHK防災アプリやデータ放送、ツイッ

ター、防災行政無線、緊急速報メールなどをできる限りのツールを活用し、皆さまにお知らせします。

【質疑】 これら情報伝達ツールの各登録者数を伺います。

【答弁】 つくば市災害・防災メールの登録者数が約4千人、ヤフー防災アプリでつくば市を地域設定している方の数が約6万5千人です。市の危機管理課が運営するツイッターのフォロワー数が約6300人、市の公式ツイッターのフォロワー数が

4万8600人です。

【意見】 自分の身は自分で守るために最低限必要な情報を一瞬に知らしめていく責任が行政にあると考えます。災害時には各時点で必要な情報を的確かつ確実に伝えることが重要で、各情報手段の特性を踏まえ、最適な方法を検討する必要があります。細かな対応には、民の力を借り、協力し進めていきたいと思います。

このほか、子どもの貧困対策、糖尿病重症化予防、コロナ禍における健診事業の現状と対策、肺がん検診の医療機関での個別検診化について質問しました。



### 傍聴される方へのお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、次のことをお願いします。

- ▶ 傍聴される場合は、必ずご**自宅**で検温をお願いします。なお、発熱などの症状がある方や体調のすぐれない方は傍聴をご遠慮いただくようお願いいたします。
- ▶ 傍聴の際は、**マスク**を着用（各自でご用意をお願いします）してください。
- ▶ 傍聴受付にある**消毒液**を活用してください。なお、**インターネット**で**議会中継**・**映像配信**を行っていますので、ぜひ活用してください。

☎議会事務局議会総務課 029-883-1111 (内線 6110・6120・6130)

### 議会中継・映像配信

下記ホームページから「議会中継」をクリックしてアクセスし、視聴してください。

本会議（定例会・臨時会）の開催時間であれば生中継をご覧いただけます。また、本会議開催日ごとに3日後（休日を除く）から録画映像を視聴することができます。ぜひご覧ください。

※委員会は配信していません。

【つくば市議会ホームページ】

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/shisei/shigikai/index.html>



つくば市議会映像配信

議会報編集委員	
委員長	長塚 俊宏
副委員長	木村 清隆
委員	山中 真弓
委員	小森谷 佐弥香
委員	高野 文男
委員	黒田 健祐
委員	山本 美和
委員	須藤 光明

## 中間報告

9月18日の本会議にて、「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」、「高工ネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」から中間報告がされました。

### つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会

【平】 成30年1月に筑波研究学園都市の核施設であった「クレオ」が閉店したことにより、多くの市民から魅力ある中心市街地の実現を求める声やクレオ再生を望む声、公共施設の整備を求める声などが寄せられ、平成31年2月18日につくば市議会は、つくば市全域の活力の創出および魅力向上を含めたつくば中心市街地の魅力あるまちづくりのための調査研究を目的とした議員27名からなる「つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会」を全会一致で設置した。

調査特別委員会は、平成31年3月4日以降、延べ13回にわたって中心市街地のさまざまな現状把握や現地調査、有識者による講演や議員勉強会・意見交換会を行い、令和元年12月20日に、その途中経過を取りまとめた内容を、今後のつくば中心市街地まちづくりについての中間報告として、つくば市長に提言を行った。そして、その中間報告が、「つくば中心市街地まちづくり戦略」（素案）に反映された。

提言後、令和2年1月24日に、「つくば中心市街地まちづくり戦略」素案について、つくば市から調査特別委員会に対して説明があり、つくば市議会各会派から出された意見を調査特別委員会で取りまとめ、令和2年3月19日に、今後のつくば中心市街地まちづくりについての提言として、つくば市長に提出した。そして、その提言が「つくば中心市街地まちづくり戦略」の進展に伴って、つくばセンタービルリニューアル基本計画について、エリアマネジメントに対する取り組みについて、公務員宿舍跡地の街並み誘導について、パブリックスペースの活用について、適時つくば市から説明を受け、より市民ニーズに沿うよう意見交換を行うものとする。

以上、つくば中心市街地まちづくり調査特別委員会の中間報告として報告いたします。

### 高工ネ研南側未利用地に関する調査特別委員会

【令】 令和元年8月19日に開催された全員協議会で、土地全体の利用を前提とした民間主導の事業提案が1社からあり、大規模商業施設の誘致、老健施設や緑地施設の敷設、物流・倉庫施設の誘致の内容で土地取得予定金額40億円との提示がありました。

その後、事業提案は1社だけでなく、計画を進めるには十分な市民説明と理解が必要であり、議会として調査検討すべく、令和元年9月27日、議員27名からなる「高工ネ研南側未利用地に関する調査特別委員会」を全会一致で設置しました。令和元年9月27日第1回委員会では、委員長、副委員長の互選を行いました。

令和元年10月10日第2回委員会では、委員会の今後のスケジュールについて、高工ネ研南側未利用地に係るこれまでの経緯と市長の考えについて、これまでの都市計画変更検討

調査の結果内容や事業計画について、執行部に質問し、各担当部局から答弁をいただきました。令和元年11月7日第3回委員会では、各委員から高工ネ研南側未利用地に対する意見を聴取し、それぞれ考えを共有しました。令和元年11月22日第4回委員会では、各委員から出された意見を大まかに整理したところ、一部公共利用すべきとの意見が多数ありました。具体的には公的利活用として陸上競技場、屋内プール、アリーナ、グランドゴルフ場との意見や避難所、防災拠点、道の駅、公園、キャンプ場、多目的広場、子どもの遊び場、市営墓地、市営斎場、研究所、教育施設、文化施設などの意見がありました。

その他、既存商業施設に対する不安の意見、条件つき一括売却の意見、市民・有識者からの意見聴取・アンケートの意見、県・近隣自治体との連携、官民連携の意見、土地の等価交換、観光施設の意見、造成、伐開市民の負担の軽減、都市計画との整合性の意見がありました。

### 高

高 工ネ研南側未利用地については、改選後も引き続き調査検討を重ねてまいります。



# 第 3 回臨時会

令和 2 年 7 月 21 日に開催し、承認 1 件、議案 2 件を審議しました。



議案審議状況と議決結果

PICK UP!

新型コロナウイルス対策関連補正予算

【議案第 65 号】  
令和 2 年度つくば市  
一般会計補正予算 (第 8 号)

原案可決



## 主な 3 事業

### 1 学校における感染症対策のための消毒液等配付事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、小中学校および義務教育学校に対し、手指消毒液、ビニールエプロンおよび非接触型体温計を配付する。

### 2 中小企業販路拡大補助事業

市内中小企業などに対し、販路開拓や生産性向上の取り組みに要する経費の一部を補助する。

- ▶対象 市内に本社・本店を置く中小企業者
- ▶対象事業 通販用ホームページ作成、予約システム導入、キャッシュレス決済端末導入など
- ▶助成額 中小企業 最大 100 万円  
小規模事業者 最大 50 万円

その他、11 の事業が可決され、歳入歳出予算の総額にそれぞれ

3 億 1,693 万 9,000 円

を追加しました。

### 3 事業継続給付金事業

国の持続化給付金・家賃支援給付金、市のテナント等支援補助金のいずれも受給していない事業者に給付金を支援する。

- ▶対象 月売上が前年比で 30 ~ 50% 減少した事業者
- ▶助成額 法人 20 万円 / 個人 10 万円



#### 質疑・討論

議案第 65 号 令和 2 年度つくば市一般会計補正予算 (第 8 号) 審査結果 II 可決すべき

【質疑】 情報通信ネットワークシステム運用に要する経費の事業内容について

【答弁】 感染症の第 2 波・第 3 波を想定し、集団感染を防ぐための分散勤務を行う目的で、サテライトオフィスとしてネットワーク環境を整備するものである。

【賛成討論】 ロボットの街づくば推進については、情報技術により生活が便利になるというメリットがある一方、コンピュータ上で扱われる個人情報流出するリスクがある前提でどこまでセキュリティを強化するか検討が必要である。今後も収入減少した世帯の公共料金や税の減免など、必要な支援施策を行えるよう、関係機関がしっかりと連携することを要望し、賛成します。



#### 委員会審査

##### 総務

議案第 65 号 令和 2 年度つくば市一般会計補正予算 (第 8 号) 審査結果 II 可決すべき

【質疑】 除菌・消毒ロボット賃借の事業概要について

【答弁】 市内公共施設における除菌作業手段として、紫外線照射タイプ・消毒液噴霧タイプの 2 種類を導入し、感染リスクの回避と安心・安全な施設管理を実施する。

##### 文教福祉

議案第 12 号 専決処分事項の承認を求めるとについて (専決処分第 8 号) 審査結果 II 承認すべき

【質疑】 家庭教育支援に関し、講師による動画配信のための機器導入を専決処分にした理由と第 1 回目の配信時期について

【答弁】 感染拡大の影響による学級生の不安や孤独感拭拭のための早期実施であり、第 1 回目の配信時期は 8 月中旬となる。

議案第 65 号 令和 2 年度つくば市一般会計補正予算 (第 8 号) 審査結果 II 可決すべき

【質疑】 手話通訳派遣手数料 4 万 2 千円の内訳について

【答弁】 手話通訳者 2 名と要約筆記者 2 名、計 4 名の 1 回の追加補正である。

##### 市民経済

議案第 65 号 令和 2 年度つくば市一般会計補正予算 (第 8 号) 審査結果 II 可決すべき

【質疑】 感染拡大に伴う市内民間企業の有効求人倍率と中小企業を含む市内の経済状況について

【答弁】 ハローワーク土浦管内における有効求人倍率は 5 月が 1.99% で、4 月から 0.03% 減少している。雇用保険の受給資格決定件数は、前年同月に比べ約 7% 増加し、失業者数が増えている。

##### 都市建設

議案第 65 号 令和 2 年度つくば市一般会計補正予算 (第 8 号) 審査結果 II 可決すべき

【質疑】 公共交通支援交付金の交付基準について

【答弁】 令和 2 年 1 月から 5 月までの運賃収入のうち前年同月比で 30% 以上減少した月があることが条件で、市内路線バス、タクシー、ケーブルカーおよびロープウェイ事業者に交付する。

## 令和 2 年第 3 回臨時会議案等議決結果一覧

案件名	議決結果	案件名	議決結果
【承認第 12 号】 専決処分事項の承認を求めるとについて (専決処分第 8 号)	承認	【議案第 65 号】 令和 2 年度つくば市一般会計補正予算 (第 8 号)	原案可決
		【議案第 66 号】 工事請負契約の締結について	原案可決

## 令和 2 年第 3 回臨時会議員賛否一覧

議案等番号	自民つくばクラブ・新しい風					つくば市政クラブ					つくば・市民ネットワーク			日本共産党			公明党			つくば政清会		山	新	創					
	長塚 俊宏	黒田 健祐	神谷 大蔵 議長	小久保 貴史	五頭 泰誠	ヘイズ ジョン	久保谷 孝夫	塚本 洋二	大久保 勝弘	高野 進	柳沢 逸夫	須藤 光明	鈴木 富士雄	小森谷 佐弥香	皆川 幸枝	宇野 信子	北口 ひとみ	山中 真弓	橋本 佳子	滝口 隆一	山本 美和	浜中 勝美	小野 泰宏	木村 清隆	木村 修寿	塩田 尚	金子 和雄	高野 文男	
承認第 12 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 65 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第 66 号	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 「○」は賛成、「×」は反対、「退」は退席。議長は可否同数の場合または特別多数議決の場合以外は評決に加わりません。  
 ※ 会派名 (五十音順) 山=山中八策の会 新=新社会党 創=創生クラブはがくれ



令和元年度決算認定

令和2年8月27日の本会議において議長と議会議長の監査委員を除く26名で構成する決算特別委員会を設置しました。決算特別委員会は、9月定例会で付託された令和元年度一般会計歳入歳出決算認定、各特別会計歳入歳出決算認定、令和元年度水道事業会計未処分利益余剰および決算認定を審査するため、決算特別委員会および各分科会を開催しました。

分科会審査

総務

認定第1号 令和元年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

審査結果II認定すべき

質疑 生活支援ロボット普及促進に要する経費の予算の増額理由と予算執行率が低い理由について

答弁 近未来技術等社会実装加速化推進事業を追加したため予算が増額となった。生活支援ロボット普及促進事業は平成28年から5ヶ年計画の地方創生推進交付金事業で、平成30年度の3ヶ年で導入検討事業者の試用が一巡し、令和元年度から利用が少なくなり、執行率が低くなったと考えている。また、国から採択を受けた近未来技術等社会実装事業に含まれるサイバーダイン社の製品を予算見積りした段階では実用化の予定であったが、販売に至らず、試用機会を提供できなかったため、執行率が低くなった。

文教福祉

認定第1号 令和元年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

審査結果II認定すべき

質疑 健康事業に要する経費に、平成30年度から令和元年度にかけて全般的に健診受診者数が増加した理由について

答弁 電話勧奨を行ったこと、受診券に受診しない項目にのみXをつけるオプトアウト方式を導入したこと、また、総務省の

実証事業として過去の受診データを人工知能により分析し対象者を4分類に分けそれぞれに応じた勧奨通知を作成して発送した結果、1回目の通知で2・55%、2回目で5・55%の受診率向上が見られた。

市民経済

認定第1号 令和元年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

審査結果II認定すべき

質疑 市民協働推進に要する経費に、アイラブつくばまちづくり補助金の交付額が予算額より少ない理由について

答弁 2回目の申請時点で予算額の400万円に達したが、その後コロナ禍の影響で1事業を中止し、最終的な交付額が368万7千円となった。令和2年度は予算を500万円に増額した。

都市建設

認定第1号 令和元年度つくば市一般会計歳入歳出決算認定について

審査結果II認定すべき

質疑 圏央道推進に要する経費の(仮称)つくばスマートインターチェンジ整備の進捗状況と今後のスケジュールについて

答弁 現在、用地買収を進めているが、全地権者12者中、用地買収契約済みは2者と難航している実情がある。今後も粘り強く交渉を続け、令和4年3月供用開始を目標に、国と連携を取りながらネクスコとともに事業を進めていく。

質疑・討論

認定第4号 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

審査結果II認定すべき

反対討論 後期高齢者医療制度は、75歳以上の高齢者を別建てにした差別医療であり、医療費の不公平な新たな保険制度を確立するよう国に求める立場なので反対する。

賛成討論 後期高齢者医療制度は、被保険者が年々増加する中、必要な財源や適切な医療を確保し、高齢者の方が安心して生活が送れるよう、安定した制度運営がなされていると考えるので賛成する。

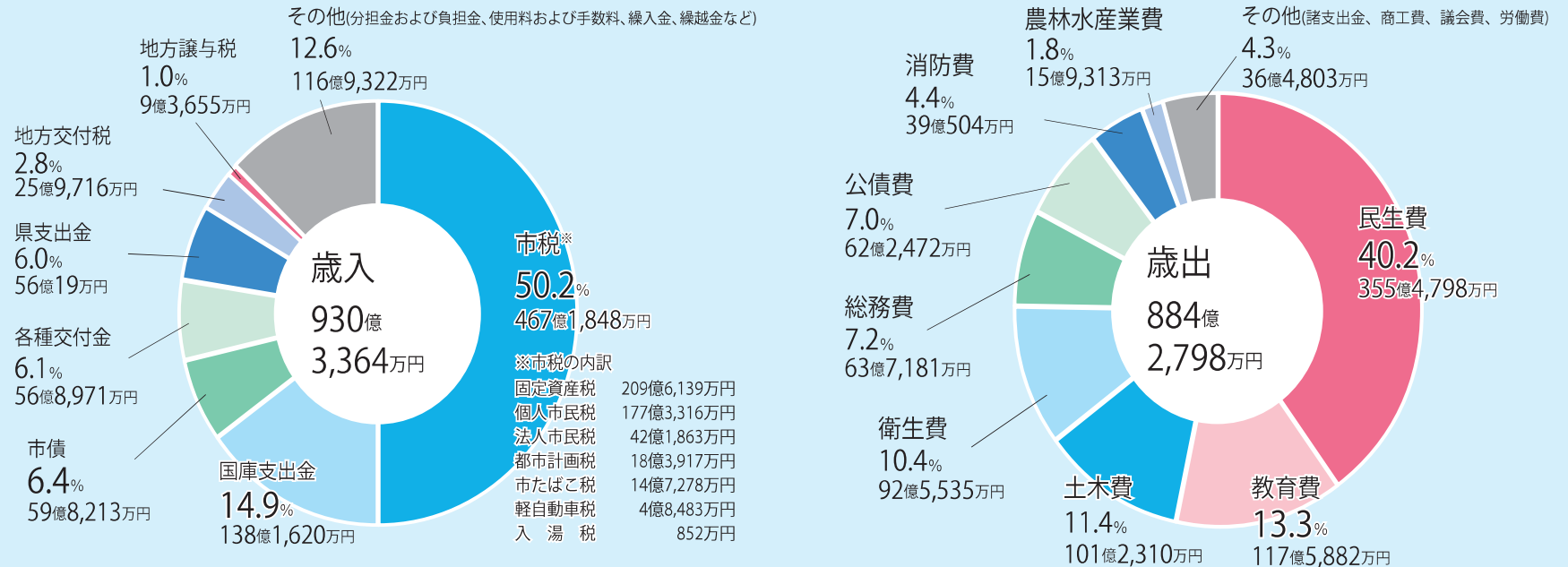
認定第7号 介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定

審査結果II認定すべき

反対討論 介護保険料について、第7期高齢者福祉計画策定の際には低所得者に対する配慮等から、所得階層を16段階にし、累進性を高めることで軽減を図ろうとしたことは評価するが、基準額を引き上げたことで効果を生み出すことはできなかった。介護保険料の軽減措置を求める立場なので反対する。

賛成討論 一人暮らし高齢者や高齢世帯が増加する中、地域全体で高齢者を見守り、支えていく体制の強化が必要であり、介護を必要とする状況になっていも住み慣れた地域で安心した生活が送れるよう、安定的な運営に努めていると考えるので賛成する。

令和元年度一般会計 決算



歳入 930億3,364万円、前年度比49億8,019万円、5.7%の増

歳出 884億2,798万円、前年度比32億9,555万円、3.9%の増

主な歳入項目 市税※ 467億1,848万円

主な歳出項目 民生費 355億4,798万円

衛生費 92億5,535万円

教育費 117億5,882万円

土木費 101億2,310万円

総務費 63億7,181万円

公債費 62億2,472万円

消防費 39億504万円

農林水産業費 15億9,313万円

その他(諸支出金、商工費、議会費、労働費) 36億4,803万円

市税の内訳

固定資産税 209億6,139万円

個人市民税 177億3,316万円

法人市民税 42億1,863万円

都市計画税 18億3,917万円

市たばこ税 14億7,278万円

軽自動車税 4億8,483万円

入湯税 852万円

国庫支出金 138億1,620万円

市債 59億8,213万円

各種交付金 56億8,971万円

県支出金 56億19万円

地方交付税 25億9,716万円

地方譲与税 9億3,655万円

その他(分担金および負担金、使用料および手数料、繰入金、繰越金など) 116億9,322万円

市債の年度末残高は、前年度比15億6,363万円減の102億8,339万円。財政調整基金を当初予算で積極的に繰り入れし活用したことや、TX関連土地整理基本事業の県無利子貸付金の償還のため、計画的に積立てた減債基金を充てたことが、基金残高の減の要因となっている。



・ 総務

議案第68号 令和2年度つくば市一般会計補正予算(第10号)

審査結果 可決すべき

今回の地区ごとの投票所数について。

筑波地区が16か所、大穂地区が5か所、豊里地区が7か所、谷田部地区が23か所、桜地区が16か所、荃崎地区が8か所。



議案第76号 つくば市税条例の一部を改正する条例について

審査結果 可決すべき

個人住民税の寄附金税額控除における「市長が指定するイベント」について。

現段階では、茨城県の指定と同じく、文化庁・スポーツ庁が指定するスポーツ競技や文化芸術に関するもので、令和2年2月1日から令和3年12月31日までの間に中止などがされたイベントが対象となる。市内に限らず、全国で行われたイベントが対象となる。

・ 文教福祉

議案第68号 令和2年度つくば市一般会計補正予算(第10号)

審査結果 可決すべき

新型コロナウイルス感染症防止の消耗品購入の内容について。

主としてサーモグラフ、ワイパー、サーキュレーター、加湿器などの備品や消毒液、児童生徒用通知の用紙など消耗品および学習保障のための電子黒板の購入費用が該当し、現状を把握した上で性能が高く、必要性が高いものを購入しよう配慮している。

請願第4号 国の責任による少人数学級の前進を求める請願書

審査結果 趣旨採択とすべき

国が開催する教育再生実行会議内ワーキンググループにて、少人数学級の話があったようだが市に情報が来ているか。

教育委員会にはまだ情報が来ていない。請願趣旨は事実に基づいているが、市では人口が増加している中、20人学級は現実的なのか疑問である、35人学級を目標としている県の動向も注視し、趣旨採択とすべきである。賛成討論 人数は検討の余地があるが、つくば市教育大綱を進めるためにも少人数学級を進める必要があるため賛成する。

・ 市民経済

議案第68号 令和2年度つくば市一般会計補正予算(第10号)

審査結果 可決すべき

非核平和都市に関する事業がコロナ禍で中止となったようだが、別の方法で非核平和都市を考える方法は検討されているのか。

9月21日の国際平和デー前後の9月15日から24日の間、庁舎1階の展示ブースにおいて非核平和事業のパネル展示を行う。

個人番号カード事務に要する経費の事務補助員報酬の増額理由について。

特別定額給付金によるオンライン申請やマイナンバーカードにより、マイナンバーカードの申請、交付件数が昨年の4月から8月の同時期に比べて約3倍の件数となり、国からの補助金を活用し事務補助員4名を雇用するための経費である。

財産の取得について。審査結果 可決すべき。プール以外の土地利用の検討について。建物のほか、送迎用のバス駐車場や回転場を整備予定であるが、プールのみでは広すぎるという考えもあり、学校教育での使用や市民が利用できるような施設配置を見極め、有効に使える土地が出てくることも予想できるため、引き続き検討していきたい。

・ 都市建設

議案第68号 令和2年度つくば市一般会計補正予算(第10号)

審査結果 可決すべき

防犯対策に要する経費の光熱水費が、約600万円減額補正となった理由について。

減額分は、防犯灯の電気料金を一括前払いした残金である。例年であれば、当初予算で計上した金額になるが、今年度は、燃料調整費が下がったため請求額が低くなったと東京電力からは聞いている。

公害対策に要する経費の臭気測定調査委託料を補正予算に計上した理由について。

昨年度から、みどりの一丁目およびみどりの南を中心に異臭相談が継続的に寄せられており、令和2年2月から3月にかけてみどりの工業団地に立地する事業所に対して、悪臭防止法に基づく調査を実施した。しかし、いずれも規制基準値を満たしており、原因の特定には至らなかった。改善するための対策案を導くための計上である。

臭気以外にも、悪影響のある化学物質が排出されている可能性がある。住民から健康被害について相談を受けた場合は、そちらについても調査をしてほしい。また、法を順守した産業廃棄物の管理を徹底し、住民に影響が出ないようにしてほしい。

議案審議

認定第7号 令和元年度つくば市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

認定

所得階層を2段階増やし、14段階から16段階にするとともに、累進性を高めることで低所得者層の軽減を図ったことは評価するが、基準額を年額7万700円から1万900円引き上げ7万2600円にしたことで効果を生み出せていない。

2人以上の世帯のうち、勤労者世帯の非消費支出が増加しており、介護保険料が極端に伸びている。低所得者層に寄り添う保険料・利用料の軽減措置を求め、反対する。

賛成討論 少子高齢化が進展

する中で、独り暮らし高齢者や高齢者世帯が増加し、地域全体で高齢者を見守り、支えていく体制の強化の必要性がますます高まっている。高齢者が介護を必要とする状況になっても、住み慣れた自宅や地域で安全で安心して生活ができるよう、介護保険制度の安定的な運営に努めてきたことが認められるので、賛成する。

議案第81号 つくば市指定居宅介護支援事業等に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例について

原案可決

主任介護支援専門員の確保が困難な理由はどういうことか。

主任介護支援専門員の確保が困難な理由は、有資格者が少ないためと考えられる。研修が年1回しか行われず、受講員に制限があることなど、研修を受講するための条件が厳しいことが要因として挙げられる。

議案第83号 つくば市長の給料の特例に関する条例について

原案可決

辞退分の退職金の今後の取り扱い、使い方について。

退職金については、県内全市町村が加入する茨城県市町村総合事務組合が市町村職員退職手当条例に基づき支給しており、今回の辞退分の退職金を納付した負担金の返還はない。

次は市長選挙でも、

コロナや自然災害、高齢化社会など深刻な問題に対し、適切な決断を下せる方に候補者となつてほしいが、退職金廃止は候補者にプレッシャーを与える可能性があり、有効な公約であるとは言えないため、反対する。









スポーツ対策特別委員会

◆委員長あいさつ

スポーツ対策特別委員会は、この4年間関東各所の陸上競技場や各種スポーツ関連施設を視察し、つくば市にどのようなスポーツ施設が必要かを検討してまいりました。また、2019年に開催された「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会」では、スポーツ対策特別委員も実行委員会の委員として携わりました。現在つくば市は、テニスコート約70面、体育館(アリーナ含む)9施設、プール4施設、サッカーや野球場などの多目的競技場20施設などを管理運営していますが、今後も増加が予想されているつくば市の人口を鑑みると決して十分ではないと考えられています。

今後、市長公約でもある陸上競技場の検討も進められていく中で、委員会としても市当局と情報共有しながら市民ニーズに即した規模や施設などを整備していけるよう引き続き取り組んでまいります。  
スポーツ対策特別委員長  
ヘイズ ジョン

委員紹介



ヘイズ ジョン  
委員長



山中 真弓  
副委員長



金子 和雄  
委員



柳沢 逸夫  
委員



浜中 勝美  
委員



塚本 洋二  
委員



北口 ひとみ  
委員



木村 清隆  
委員



小久保 貴史  
委員

主な活動報告

2017年 平成29年度	11月17日	石岡運動公園陸上競技場視察 筑波大学陸上競技場視察
2019年 平成30年度	1月31日	浦安市陸上競技場視察 福太郎スタジアム視察
2020年 令和元年度	1月22日 1月23日	フクシ・エンタープライズ墨田フィールド (墨田区総合運動場) コーエイ前橋フットボールセンター視察



上記以外にも、随時委員会などを開催しました。



フクシ・エンタープライズ墨田フィールド  
(墨田区総合運動場)での現地視察



浦安市運動公園陸上競技場での現地視察



筑波大学での現地視察

議会活性化推進特別委員会

◆委員長あいさつ

議会活性化推進特別委員会は、市民に開かれた議会、行政チェックと政策議論によって市民の福祉向上に資する議会の役割を果たすため、さまざまな議会改革に取り組んでいます。

特に、議会報告会の運営では、総務・文教福祉・市民経済・都市建設の4つの常任委員会に分かれて市民の皆さんと意見交換を行うなど、開催方法を試行してきました。

また、委員会の視察報告書のホームページ公開や、予算決算委員会、広報広聴委員会の設置を進めてきました。  
さらなる議会活性化のため、市

民の皆さんのご意見をぜひお聞かせください。  
議会活性化推進特別委員長  
宇野 信子

委員紹介



宇野 信子  
委員長



黒田 健祐  
副委員長



金子 和雄  
委員



須藤 光明  
委員



柳沢 逸夫  
委員



高野 進  
委員



山本 美和  
委員



木村 清隆  
委員



五頭 泰誠  
委員



皆川 幸枝  
委員



長塚 俊宏  
委員



山中 真弓  
委員



令和元年度 2019年11月10日  
議会報告会4常任委員会ごとの報告の様子



令和元年度 2019年11月10日  
議会報告会全体会の様子



平成30年度 2019年1月27日  
議会報告会全体会の様子